

厳島港宮島口地区旅客ターミナル工事に伴う基本・実施設計委託の公募型建築プロポーザル

広島県では、「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、世界遺産・宮島の玄関口にふさわしい、新しい厳島港宮島口地区旅客ターミナルの整備を計画しています。この旅客ターミナルの設計者を選定するために、公募型建築プロポーザルを実施し、最終審査会を昨年8月9日に開催しました。審査部会長は伊東豊雄氏で、審査委員は古谷誠章氏、曾我部昌史氏、橋爪紳也氏、千代章一郎氏、廿日市市の原田忠明氏、県の宮地正人氏の7名で審査しました。

最終審査では、参加表明のあった109者のうち、1次審査を通過した5者による公開プレゼンテーションと質疑応答が行われ、その後に、審査部会による審査を行いました。

特定者は、(有) 乾久美子建築設計事務所。



提案パース



最終審査会の様子

■部会長講評

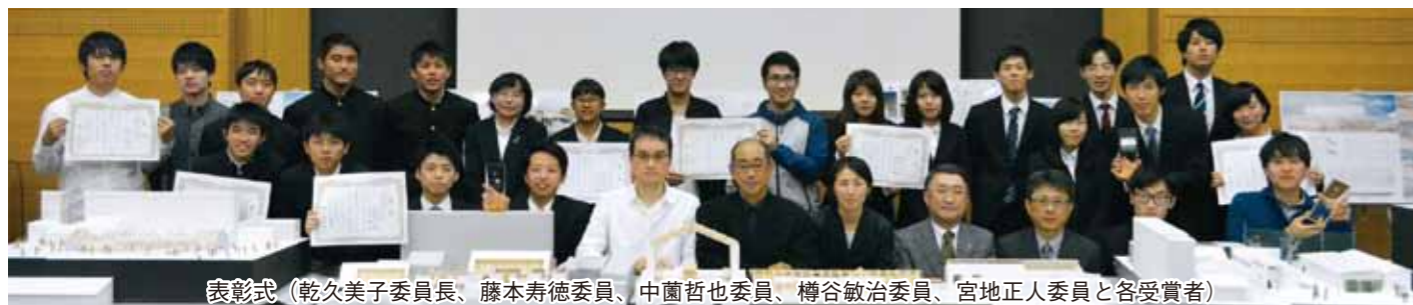
周辺地域の人の流れを踏まえた計画、周辺地域との一体性を考えて計画されている点、半外部の空間を大きくし内部空間との関係性を曖昧とすることで界隈性を作り出し、そこに南西から北東へと続くS字型ストリートが非常にうまく計画されている点、規模の違う商店や棧橋など大小様々な建物をひとまとめにした屋根の造形などが総じて魅力的な空間を創出している点、今後の関係者との要望を踏まえて柔軟に対応できる計画である点が評価できる。

現在、平成31年度の竣工を目指して、設計を進めています。
※プロポーザルの詳細は、県HPをご覧ください。

宮島口プロポーザル

検索

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2016」



表彰式(乾久美子委員長、藤本寿徳委員、中園哲也委員、樽谷敏治委員、宮地正人委員と各受賞者)

広島県内の建築学生を対象とした「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2016」の最終審査を、昨年11月6日に開催しました。このコンペは魅力ある建築物の持続的な創造に向けたクリエイティブな人材の育成を目的として、平成25年度から開催。今年度で4回目となります。今回の対象建築物は、「県立広島工業高等学校野球部・弓道部部室」で、最優秀作品は実際に公共施設として事業化することはもちろん、提案者が設計・監理に関わり、実践現場を経験していただきます。

審査委員長は乾久美子氏で、審査委員は広島で活躍されている藤本寿徳氏、中園哲也氏に加え、県の樽谷敏治氏、宮地正人氏の5名で審査しました。最終審査では、1次審査を通過した高校生も含む6者による公開プレゼンテーションと質疑応答が行われ、その後に、公開審査を行いました。

最優秀作品は、藤原陽平氏・林聖人氏・岡田直果氏(広島工業大学)。

■委員長講評

シンプルな外観であるが、部室内に入ると開放的な天井のデザインが爽やかな空間を演出しており、その差が面白い。さらに室外の空気を軒下から取り込むなど、「空気環境」への配慮にまで踏み込んで提案した点が素晴らしい。

現在、設計を進めており、来年度中に竣工予定です。
※コンペの詳細は、県HPをご覧ください。



最優秀作品
模型

ひろしま建築学生チャレンジコンペ

検索

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.119 平成29年2月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL (082)244-6830(代) FAX (082)244-3840 URL http://www.k-hiroshima.or.jp/
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 元廣 清志
編集人 広報委員長 神岡 千春

MONTHLY
No.119 建築士

HIROSHIMA

